

安全性データシート

改定日: 2023年4月6日

前作成日: 2015年9月16日

SDS番号: 425B-5

セクション 1: 物質 / 混合物、および企業 / 業務の識別

1.1. 製品識別

ARC S1PW (B剤)

1.2. 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途: NSFに認定された飲料水用耐摩耗性コーティングです。

使用上の制限: 情報なし

1.3. 安全性データシートのサプライヤ情報

会社:

A.W. CHESTERTON COMPANY
860 Salem Street
Groveland, MA 01834-1507, USA
電話: +1 978-469-6446 Fax: +1 978-469-6785
(月-金: 8:30-5:30 PM 東部標準時)
SDSの要求: www.chesterton.com
Eメール (SDSに関する質問): ProductSDSs@chesterton.com
Eメール: customer.service@chesterton.com

供給元:

株式会社 明治屋
神奈川県横浜市中区尾上町5丁目76番地
TEL 045-681-2741 FAX 045-681-2731
Eメール: contact-ches@meidi-ya.com

1.4. 緊急時電話番号

1日24時間、年中無休

Infotrac (追跡) 電話番号: +1 352-323-3500 (料金受信人払い通話)

セクション 2: 危険有害性の要約

2.1. 物質または混合物の分類

2.1.1. GHS/欧州規制1272/2008 [CLP]による分類

重篤な目の損傷、区分 1, H318
皮膚の炎症、区分 2, H315
皮膚の感作、区分 1, H317
水生環境有害性、急性、区分 1, H400
水生環境有害性、慢性、区分 1, H410

2.1.2. 追加情報

H(危険)ステートメントの全文: セクション2.2および16を参照。

2.2. ラベル項目

GHS/欧州規制1272/2008 [CLP]によるラベル付け

危険の絵表示:



信号語:

危険

危険有害性情報：	H318	重篤な眼の損傷。
	H315	皮膚刺激。
	H317	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
	H410	長期的影響により水生生物に非常に強い毒性。
使用上の注意：	P261	ミスト/蒸気の吸入を避けること。
	P264	使用后、手を充分洗浄してください。
	P272	汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
	P273	環境への放出を避けること。
	P280	保護手袋/保護眼鏡/保護面を着用すること。
	P302/352	皮膚に付着した場合：多量の水と石鹼で洗うこと。
	P305/351/338	眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
	P310	ただちに医師に連絡すること。
	P333/313	皮膚刺激または発疹が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。
	P362/364	汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
P391	漏出物を回収すること。	
P501	許可された廃棄物処理プラントで内容物/容器を処分してください。	

補足情報： なし

2.3. その他の危険性

安全・健康障害の詳細はA剤、B剤とも別紙に記載してあります。硬化物質は最終的に無害とされています。機械加工の際は、A剤、B剤の安全データシートの注意事項を参照してください。

セクション 3： 組成、成分情報

3.2. 混合物

危険成分 ¹	重量%	CAS番号	GHS分類	特定の濃度制限、Mファクター、ATE
脂肪酸、トル油、テトラエチレンペンタミンの反応生成物	50-61	68953-36-6	皮膚腐食性 1C, H314 皮膚感作性 1A, H317 急性水生毒性 1, H400 (Mファクター 10) 水生慢性 1, H410 (Mファクター 1)	入手不可
テトラエチレンペンタアミン	5-10	112-57-2	急性毒性 4, H302/312 皮膚腐食性 1B, H314 皮膚感作性 1, H317 水生慢性 2, H411	ATE (経口): 500 mg/kg ATE (経皮): 660 mg/kg
N-(3-(トリメトキシシリル)プロピル)エチレンジアミン	0.1-0.5	1760-24-3	急性毒性 4, H332 眼に対する重篤な損傷性 1, H318 皮膚感作性 1B, H317 STOT 反復暴露 2, H373 (呼吸器系、吸入)	ATE (経口): 2,413 mg/kg ATE (経皮): 2009 mg/kg ATE (吸入、蒸気): 95.6 mg/l ATE (吸入、ミスト): 1.5 mg/l
その他の成分:				
シリカ(石英)	1-5	14808-60-7	分類されていません***	入手不可

*CAS番号1226892-45-0で登録。 **CAS番号90640-66-7で登録。

***職場での暴露限界のある物質。

H(危険)ステートメントの全文：セクション16を参照。

分類基準： * 労働安全衛生法
* 毒物および劇物取締法
* GHS, 1272/2008/EC, REACH

セクション 4： 応急処置

4.1. 応急処置情報

- 吸入：** 新鮮な空気のある場所へ移動してください。呼吸が停止している場合は、人工呼吸を実行してください。医師の診断を受けてください。
- 皮膚への付着：** 汚染した衣服は脱いでください。石鹼水で皮膚を洗浄してください。衣服は再使用する前に洗ってください。医師の診断を受けてください。
- 目に入った場合：** 大量の水で目を最低30分間洗い流してください。医師の診断を受けてください。
- 呑み込んだ場合：** 意識がある場合は無理に吐かないでください。ミルクあるいは酢を飲んでください。直ちに医師の診断を受けてください。
- 応急手当を行う人の保護：** 個人に対する危険がある場合や適切な訓練が行われていない場合は、行動を起こさないでください。犠牲者に手当を施している間は製品に触らないでください。ミストを吸入しないこと。個人用保護具に関する奨励事項についてはセクション888.2.2参照してください。

4.2. 最も重要な徴候と影響（急性および遅延）

目に刺激を与えることがあります。皮膚刺激。高濃縮蒸気やミストは目や呼吸器系に激しい刺激を与えることがあります。繰り返し接触すると、皮膚の過敏症あるいはアレルギー反応を起こすことがあります。

4.3. 緊急に医師の診察および特別な治療が必要な徴候

皮膚の炎症の治療には、コルチコステロイドクリームが効果があります。

セクション 5： 火災時の処置

5.1. 消火剤

適切な消火剤： 二酸化炭素、乾燥薬品、乾燥型砂、粉末石灰、耐アルコール性発泡体

不適切消火剤： データなし

5.2. 物質または混合物から生じる特別な危険性

有害な燃焼生成物： アンモニアガス、有毒な酸化窒素ガスを生成することがあります。不完全燃焼は一酸化炭素を生成することがあります。

その他の危険性： 水を使用すると非常に有害な水溶液を生成することがあります。消火活動による流出液を排水口や水路に流さないでください。

5.3. 消防の際のアドバイス

消防士に自給式呼吸器の着用を勧めてください。

セクション 6： 漏出時の処置

6.1. 作業者の注意、保護装備、緊急時の手順

その場を退去してください。充分換気してください。セクション8で指定された露出制御と人体保護を利用してください。

6.2. 環境に対する注意

下水、河川、水路に流さないでください。

6.3. 閉じ込めおよび清掃の方法・材料

適切な廃棄用容器に回収してください。

6.4. 他のセクションの参照

廃棄処理についてはセクション13を参照してください。

セクション 7： 取扱い及び保管上の注意**7.1. 安全な取扱いのための注意**

セクション8で指定された露出制御と人体保護を利用してください。ミストや蒸気を吸込まないでください。発ガン性ニトロソアミンを生成する可能性のある亜硝酸ナトリウムその他のニトロソ化剤で汚染しないでください。飲食や喫煙の前に手を洗ってください。汚染した衣服は脱いでください。衣服は再使用する前に洗ってください。汚染された皮は靴を含め浄化することはできません。処分してください。除去、ドリル、研削、のこ引き、研磨などを行う際は、粉塵の生成、吸引を避けてください。

7.2. 安全な保管のための条件 (配合禁忌を含む)

使用時以外は容器の蓋を閉めてください。熱や湿気のない所に保管してください。凍らせないでください。

7.3. 具体的な最終用途

予防策は特になし。

セクション 8： 暴露防止及び保護措置**8.1. 管理パラメーター**

成分	日本産業衛生学会 OEL		ACGIH TLV	
	ppm	mg/m ³	ppm	mg/m ³
脂肪酸、トール油、テトラエチレンペンタミンの反応生成物	N/A	N/A	N/A	N/A
テトラエチレンペンタアミン	N/A	N/A	N/A	N/A
N-(3-(トリメトキシシリル)プロピル)エチレンジアミン	N/A	N/A	N/A	N/A
シリカ(石英)	(吸引可能)	0.03 (上限)	(吸引可能)	0.025

生物学的限界値

構成成分に対する生物学的暴露限界はありません。

8.2. 曝露制限**8.2.1. 設備対策**

十分換気し、蒸気濃度を許容限界以下に維持してください。粉塵を生成する恐れのある硬化物に最終的に変更する必要がある場合は、粉塵の除去、低減を行ってください。

8.2.2. 作業員の保護対策

呼吸器系の保護： 通常不必要。スプレー中は、適切な呼吸用具を使用してください。

手袋： 耐薬品性手袋(例：天然ゴム、ニトリルゴム、ネオプレン、あるいはPVC(ポリ塩化ビニル))

目 / 顔の保護： 安全ゴーグル。

その他： 皮膚への付着を防ぐために必要な不浸透性の衣服。

8.2.3. 環境暴露措置

セクション6と12を参照。

セクション 9： 物理的及び化学的性質**9.1. 基本的な物理・化学的性質に関する情報**

形状	粘り気のあるペースト	pH	適応せず
色	黄褐色	動粘	3000-7000 cps @ 25°C
臭気	アンモニア臭	水溶性	不溶性
においの閾値	未定	分配係数:n-オクタノール/水 (Log Pow)	適応せず
沸点、初留点及び沸騰範囲	> 200° C	20°Cでの蒸気圧	< 20.68
融点・凝固点	適応せず	相対密度	1.18 kg/l
揮発率%(容量比)	0%	蒸気密度(空気=1)	> 1
引火性	適応せず	蒸発率(エーテル=1)	< 1
高/低引火性あるいは高/低爆発限界	未定	重量比芳香物含有率 (%)	未定
引火点	195°C	爆発性	未定
方法	タリアブーエ閉カップ	酸化性	未定
自己発火温度	未定	粒子特性	適応せず
分解温度	未定		

9.2. その他の情報

VOC (EPA 24): 0.28 lbs/gal. (1.18 kg/l)

セクション 10： 安定性及び反応性**10.1. 反応性**

セクション10.3と10.5を参照。

10.2. 化学的安定性

通常の状態では安定。

10.3. 危険な反応の可能性

通常の使用条件では危険反応は起こっていません。

10.4. 避けるべき条件

炎と高温。

10.5. 配合禁忌薬品

強酸、液体塩素や濃縮酸素のような強力酸化剤。

10.6. 危険な分解物硝酸、NO_x、アンモニア、一酸化炭素、二酸化炭素、ニトロソアミン、その他の有毒煙。**セクション 11： 有害性情報****11.1. 毒性影響に関する情報**

通常使用時の主な接触経路： 吸引、皮膚や目への付着。既往性喘息、慢性呼吸器系疾患、皮膚や目に問題のある作業員が晒されると、一般に症状が悪化します。

急性毒性 -

経口： 成分に関する入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。ATE-混合物 = 7,091 mg/kg.

物質	テスト	結果
テトラエチレンペンタアミン	致死量50(LD50)、ラット	2,100 mg/kg
N-(3-(トリメトキシシリル)プロピル)エチレンジアミン	致死量50(LD50)、ラット	2,413 mg/kg

経皮： 成分に関する入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。ATE-混合物 = 12,764 mg/kg.

物質	テスト	結果
テトラエチレンペンタアミン	致死量50(LD50)、うさぎ	660 mg/kg
N-(3-(トリメトキシシリル)プロピル)エチレンジアミン	致死量50(LD50)、うさぎ	> 2,000 mg/kg

吸入： 高濃縮蒸気やミストは目や呼吸器系に激しい刺激を与えることがあります。

物質	テスト	結果
N-(3-(トリメトキシシリル)プロピル)エチレンジアミン	致死濃度50(LC50)、ラット	1.49 - 2.44 mg/l (ミスト)

皮膚腐食性/刺激性： 皮膚刺激。

物質	テスト	結果
ARC S1PW (B剤)	OECD 435	非腐食性

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性： 目に刺激を与えることがあります。

物質	テスト	結果
テトラエチレンペンタアミン	目の炎症、うさぎ	腐食性

呼吸器または皮膚の感作： アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。

胚細胞突然変異原性： 脂肪酸、トール油、テトラエチレンペンタミンの反応生成物：生殖細胞の突然変異原ではないとされています。テトラエチレンペンタアミン - エイズ試験：陽性。N-(3-(トリメトキシシリル)プロピル)エチレンジアミン：入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。

がん原性： 国際がん研究機関(IARC)と国家毒性プログラム(NTP)は吸引シリカを発ガン性物質に分類しています。本製品内のシリカは独立して存在せず、空気中に浮遊しないので、通常の使用では危険はありません。

生殖毒性： 脂肪酸、トール油、テトラエチレンペンタミンの反応生成物、N-(3-(トリメトキシシリル)プロピル)エチレンジアミン：生殖毒性物質ではないとされています。テトラエチレンペンタアミン：不確定。

STOT - 単回暴露： 脂肪酸、トール油、テトラエチレンペンタミンの反応生成物：一回の暴露では臓器障害を起こすことはないとされています。テトラエチレンペンタアミン、N-(3-(トリメトキシシリル)プロピル)エチレンジアミン：データなし。

STOT - 反復暴露： 脂肪酸、トル油、テトラエチレンペンタミンの反応生成物、テトラエチレンペンタアミン、N-(3-(トリメトキシシリル)プロピル)エチレンジアミン：長期にわたる、または反復暴露により臓器の障害を起こさないとされています。呼吸可能な遊離シリカを繰り返し吸引すると、咳や息切れとともに肺に損傷を与えることがあります。珪肺症(遅発肺疾患で肺線維症の一種、機能不順を徐々に死にいたることもある)が生じることがあります。本製品内のシリカは独立して存在せず、空気中に浮遊しないので、通常の使用では危険はありません。

吸引性呼吸器有害性： 粘度を根拠に、吸引毒物ではないとされています。

なし

セクション 12： 環境影響情報

本製品用に特別に決定された生態毒性データはありません。以下の情報は類似した物質の成分と生態毒性に基づいています。

12.1. 毒性

長期的影響により水生生物に非常に強い毒性。

12.2. 持続性・分解性

テトラエチレンペンタアミン：生分解しにくいと考えられています。N-(3-(トリメトキシシリル)プロピル)エチレンジアミン：水あるいは湿った空気の中で加水分解して、メタノールと有機ケイ素を放出します。：生分解 50% (OECD 301A, 28日)。

12.3. 生物蓄積の可能性

テトラエチレンペンタアミン：生体内蓄積しません。(log Kow < 1)。N-(3-(トリメトキシシリル)プロピル)エチレンジアミン：生体内蓄積しません。

12.4. 土壌中の移動性

ペースト。非水溶。環境移動性を決定する際は、本製品の物理、化学特性を考慮してください(セクション9参照)。テトラエチレンペンタアミン：土壌内の移動性が極めて高いとされています。

12.5. PBT・vPvB評価の結果

入手不可

12.6. その他の悪影響

既知の影響なし

セクション 13： 廃棄上の注意

13.1. 廃棄処理方法

反応を起こしていない成分は特殊廃棄物です。樹脂と硬化剤を混合してください。硬化物質は最終的に無害とされています。密封した容器を正式に認可された設備で埋立処理してください。適切な設備で焼却することができます。地方自治体、国家条例を調べ、最も厳しい条件を遵守してください。本製品はEC理事会指令2008/98/ECで危険廃棄物に指定されています。

セクション 14： 輸送上の注意

14.1. UN番号

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: UN3082

14.2. UN固有輸送名

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: 環境有害物質、液体 (TETRAETHYLENEPENTAMINE)

14.3. 輸送危険性分類

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: 9

14.4. 梱包グループ

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: III

14.5. 環境への危険性 海洋汚染物	
14.6. ユーザーへの特別な注意 使用に関する特別な注意はなし	
14.7. Marpol 73/78附則IIIによる貨物輸送およびIBCコード 適応せず	
14.8. その他の情報 IMDG: EmS. F-A, S-F 単一包装又は内部包装を含む単一包装又は組合せ包装の正味量が5L以下の場合非制限として出荷することができる。(IMDG CODE 修正 37-14, 2.10.2.7) ICAO/IATA: 単一包装又は内部包装を含む単一包装又は組合せ包装の正味量が5L以下の場合非制限として出荷することができる。(IATA危険物 規則書 第56版, 4.4 特別規定 A197) ADR: 分類コード M6 トンネル制限コード (E) 単一包装又は内部包装を含む単一包装又は組合せ包装の正味量が5L以下の場合非制限として出荷することができる。 (ADR 2015 1巻, 3.3章 特別規定 375)	
セクション 15: 適用法令	
15.1. 物質または混合物に固有の安全性・保健・環境規制 / 法規	
日本PRTR	クラスI薬品: テトラエチレンペンタアミン
	クラスII薬品: なし
その他の国内規制:	化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法) 旧第三種監視化学物質: テトラエチレンペンタアミン 製造輸入量の届出を要しない物質: シリカ(石英) 毒物及び劇物取締法 劇物: テトラエチレンペンタアミン

セクション 16: その他の情報

略語一覧: ACGIH: 米国産業衛生専門家会議
 ADN: 内陸水路による危険物の国際輸送に関する欧州協定
 ADR: 道路による危険物の国際輸送に関する欧州協定
 ATE: 急性毒性推定値
 BCF: 生物濃縮係数
 cATpE: 変換後の急性毒性推定値
 CLP: 分類、ラベル、包装に関する法規 (1272/2008/EC)
 GHS: 世界調和システム
 ICAO: 国際民間航空機関
 IMDG: 国際海上危険物規定
 LC50: 試験動物の50%を死亡させる致死濃度
 LD50: 試験動物の50%を死亡させる投与量
 LOEL: 最小作用量
 NOEC: 最大無作用濃度
 NOEL: 最大無作用量
 N/A: 該当せず
 PBT: 難分解性、生物蓄積性および有毒性を有する物質
 PEL: 許容暴露限度
 REACH: 化学物質の登録、評価、認可および制限に関する規制 (1907/2006/EC)
 RID: 鉄道による危険物の国際輸送に関する規定
 SDS: 安全性データシート
 STEL: 短時間暴露許容濃度
 STOT: 特定標的臓器毒性
 TLV: 暴露限界
 vPvB: 極めて難分解性で高い生物蓄積性を有する物質
 その他の略語はwww.wikipedia.orgで調べることができます。

主な参考文献およびデータ出典: 独立行政法人 製品評価技術基盤機構 (通称 ナイト、NITE)
 欧州化学物質庁 (ECHA) - 化学物質に関する情報
 スウェーデン化学物質庁 (KEMI)
 米国国立医学図書館毒物学データネットワーク (TOXNET)
 化学分類および情報データベース (CCID)

GHSによる混合物の分類方法:

分類	分類手順
眼に対する重篤な損傷性 1, H318	算出方法
皮膚刺激性 2, H315	算出方法
皮膚感作性 1, H317	架橋原理「希釈」
急性水生毒性 1, H400	算出方法
水生慢性 1, H410	算出方法

関連するH(危険)-ステートメント: H302: 飲み込むと有害。
 H312: 皮膚に接触すると有害。
 H314: 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷。
 H317: アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
 H318: 重篤な眼の損傷。
 H332: 吸入すると有害。
 H373: 長期にわたる、または反復ばく露による臓器の障害のおそれ。
 H400: 水生生物に強い毒性。
 H410: 長期的影響により水生生物に非常に強い毒性。
 H411: 長期的影響により水生生物に毒性。

その他の情報： なし

本改訂によるSDSの変更： セクション 1.1, 1.2, 1.3, 2.1, 2.2, 3.2, 4.1, 5.1, 5.2, 8.1, 9.1, 9.2, 11.1, 12.6, 15.1, 16.

本情報は使用物質の供給元が発行したデータにのみ基づいており、混合物自体に基づくものではありません。使用者の特別な目的に対する製品の適合性に関する保証は一切明示、暗示されていません。適合性は使用者自身が決定しなければなりません。